

「教育用語辞典」第26回です。今回は穴埋め問題です。①から⑥にはどんな言葉が入るでしょうか。

【メンタルヘルス】

〔めんたるへるす〕

レベル★

「精神保健」「精神衛生」「心の健康」などのこと。近年は、仕事や人間関係に関する悩みや不安から過度のストレスを感じる人が増え、うつ病や心身症などの（①）を思い休職・離職にまで至る人が増えている。

特に教員については、病気休職者に対する精神疾患による休職者の割合が6割を超え、在職者全体に占める割合は平成23年までの10年間で約2倍になるなど、メンタルヘルス不調が増え、（②）が大きな課題となっている。

【復職支援プログラム】

〔ふくしょくしえんぷろぐらむ〕 レベル★★★

メンタルヘルス不調で休職していた労働者の復職支援のために、活動内容や関係者の役割をあらかじめ定めた支援プラン。学校では、復職を希望する教員にまず（③）がプログラム実施についての希望の有無を確認し、その後、教育委員会が関係機関との連携のもとに、実施可能かどうかを判断する。

プログラムは少なくとも（④）以上の期間をとり、「通勤し職場に慣れる」「仕事の内容に慣れる」「児童生徒との対応に慣れる」という段階を経ることが望ましい。

【感情労働】

〔かんじょうろうどう〕

レベル★★★★

アメリカの社会学者A・R・ホックシールドが提唱した労働の概念。体力を使って対価を得る「肉体労働」や、専門的知識やアイデアなどを提供する「頭脳労働」に対して、自分の感情を制御し、相手の（⑤）に合わせて対応することとで対価を得る労働のこと。看護師や介護士、飛行機の客室乗務員、対人サービス業や営業職、教員などにその要素が含まれる。

自分の感情を常に（⑥）する必要があり、大きなストレスがかかることもある。



【解答】

- ①心の病
- ②メンタルヘルスケア
- ③校長
- ④1ヶ月
- ⑤感情
- ⑥コントロール